

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	03-03-01-01
事務事業名	文化活動推進事業		
事業開始年度	平成4年～		
総合計画	大項目	基本目標	地域文化と人が輝くまちづくり
	中項目	基本施策	歴史と文化の輝くまちづくり
	小項目	施策	文化芸術の振興
	問合せ先	担当課(室)	生涯学習課
	職・氏名	文化係長 石井啓	
	電話	0869-64-1841	

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	市内外の子どもから大人まで、芸術文化に興味のある人。
目的(何のために)	文化は心豊かな人間性を育むものである。地域の芸術文化に親しむ機会を提供し、市民の文化力を高めていく。
行政活動(どのような方法で)	吹奏楽演奏会の開催。 伝統文化等の助成に対する情報の提供。 国民文化祭の開催に向けた準備事業。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	吹奏楽については、参加団体が自主的に活動していけることを目指す。 国民文化祭は、平成22年度の開催に向け多くの方に参加していただけるよう周知を行なう。参加することにより、地域の文化の再発見につなげていく。

事業の実績						
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	備前吹奏楽フェスティバル	団体	8	9	9	
	演奏会開催	回	1	1	1	
	事業費	直接事業費	千円	135	123	136
		人件費		2,738	1,300	850
		事業費計		2,873	1,423	986
	財源	国県支出金				
受益者負担		千円				
市一般財源			2,873	1,423	986	
必要人員	人	0.32	0.15	0.12		
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	参加団体数	説明	備前吹奏楽フェスティバルの演奏参加団体総数			
	結果指標量	団体	8	9	9	
	対前年比	%	-	112.5%	100.0%	
	活動コスト	円	2,873,000	1,423,000	689,000	
	単位当たりコスト	円	359,125	158,111	76,556	
	開催数	説明	備前吹奏楽フェスティバルの演奏会開催数			
結果指標量	人	1	1	1		
対前年比	%	-	100.0%	100.0%		
活動コスト	円	2,873,000	1,423,000	689,000		
単位当たりコスト	円	2,873,000	1,423,000	689,000		

事業の成果			
成果指標名	平成22年度第25回国民文化祭参加者数	式又は説明	国民文化祭対象予定行事の参加者数
成果指標量	17年度	18年度	19年度
	-	-	-
対前年比	-	-	-
到達目標値	1,500	到達目標年度	平成22年度

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	<input type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A-E>	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	課題認識	
対象	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	国民文化祭は、文化庁が主催し毎年度各都道府県が持ち回りで開催している。平成22年度には岡山県での開催が決定している。県下全市町村が参加を予定しており、本市が事業をとりやめた際の文化芸術に対する影響は大きい。	
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
行政活動	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	国民文化祭は、平成20年度に実行委員会・企画委員会の立ち上げが計画されており、平成20年度から22年度にかけてコストが増加する。先催祭を参考にしながら、いかにコストの削減ができるか検討していかなければならない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
事業の意図する成果	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	国民文化祭は、平成20年度に実行委員会・企画委員会の立ち上げが計画されており、平成20年度から22年度にかけてコストが増加する。先催祭を参考にしながら、いかにコストの削減ができるか検討していかなければならない。	
	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である	国民文化祭は、平成20年度に実行委員会・企画委員会の立ち上げが計画されており、平成20年度から22年度にかけてコストが増加する。先催祭を参考にしながら、いかにコストの削減ができるか検討していかなければならない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
コスト	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	国民文化祭は、平成20年度に実行委員会・企画委員会の立ち上げが計画されており、平成20年度から22年度にかけてコストが増加する。先催祭を参考にしながら、いかにコストの削減ができるか検討していかなければならない。	
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい		
効率性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	国民文化祭は、平成20年度に実行委員会・企画委員会の立ち上げが計画されており、平成20年度から22年度にかけてコストが増加する。先催祭を参考にしながら、いかにコストの削減ができるか検討していかなければならない。	
	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
手	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	国民文化祭は、平成20年度に実行委員会・企画委員会の立ち上げが計画されており、平成20年度から22年度にかけてコストが増加する。先催祭を参考にしながら、いかにコストの削減ができるか検討していかなければならない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
職	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善している	国民文化祭は、平成20年度に実行委員会・企画委員会の立ち上げが計画されており、平成20年度から22年度にかけてコストが増加する。先催祭を参考にしながら、いかにコストの削減ができるか検討していかなければならない。	
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	国民文化祭は、平成20年度に実行委員会・企画委員会の立ち上げが計画されており、平成20年度から22年度にかけてコストが増加する。先催祭を参考にしながら、いかにコストの削減ができるか検討していかなければならない。	
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
有効性の評価	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	国民文化祭は、平成20年度に実行委員会・企画委員会の立ち上げが計画されており、平成20年度から22年度にかけてコストが増加する。先催祭を参考にしながら、いかにコストの削減ができるか検討していかなければならない。	
	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果指標は目標年度に達成できそうである	国民文化祭は、平成20年度に実行委員会・企画委員会の立ち上げが計画されており、平成20年度から22年度にかけてコストが増加する。先催祭を参考にしながら、いかにコストの削減ができるか検討していかなければならない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	国民文化祭は、平成20年度に実行委員会・企画委員会の立ち上げが計画されており、平成20年度から22年度にかけてコストが増加する。先催祭を参考にしながら、いかにコストの削減ができるか検討していかなければならない。	
	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している	国民文化祭は、平成20年度に実行委員会・企画委員会の立ち上げが計画されており、平成20年度から22年度にかけてコストが増加する。先催祭を参考にしながら、いかにコストの削減ができるか検討していかなければならない。	
	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	国民文化祭は、平成20年度に実行委員会・企画委員会の立ち上げが計画されており、平成20年度から22年度にかけてコストが増加する。先催祭を参考にしながら、いかにコストの削減ができるか検討していかなければならない。	
	<input type="checkbox"/> 事業の有効性を高めるための取組を行っている		

平成20年度の状況		説明	吹奏楽フェスティバルについては、前年度に引き続きコストの削減に努める。国民文化祭は、平成20年度から実行委員会の立ち上げなど事業を開始する。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	9	結果指標量	1
結果指標量	1,500		

総合評価		評価区分<A-E>	B
吹奏楽フェスティバルは、実行委員会メンバーが積極的に参加したことにより、人件費も削減できつつある。第25回国民文化祭については、先催祭から情報を収集している段階であり、今後開催に向け、いかにサービスを低下させずにコストを削減するかなど調査・研究をしていく必要がある。			

平成21年度以降の方向性	
<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	国民文化祭開催事業の効率の向上に努める。	平成21年度	コストの削減につながる。
有効性	生涯学習フェスティバルで培ったボランティア団体の情報を有効に活用する。	平成21年度	市民参加型の事業展開ができる。